

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	まちをきれいに志隊事業			会計	款	項目	大	小
				01	04	01	04	06
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	生活環境の向上
事業内容	「流山市路上喫煙の防止及びまちをきれいにする条例」の実効性を確保するため、ボランティアによる「まちをきれいに志隊」が市内各地で清掃活動や啓発活動を行う。平成26年度は、「まちをきれいに志隊」について広報紙やパンフレット等で市民にPRを行うなど登録者の拡充に努めた。また、志隊と合同で喫煙マナー向上・ポイ捨て防止キャンペーンや合同清掃活動、情報交換会を行った。			
事業開始から現在までの状況変化	「流山市路上喫煙およびポイ捨て防止条例」の一部を改正し、平成22年7月1日に「流山市路上喫煙の防止及びまちをきれいにする条例」を施行した。平成24年9月3日に3団体と個人7名の合計64名の方をボランティアの「まちをきれいに志隊」に認定し、事業を開始し、登録者が年々増えつつあり、ボランティアの輪が広がることに期待している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
①	犬ふん放置禁止指導件数	4,512	61	52	件	↓↓↓	H25年度は相談員による指導数。 H24年度は緊急雇用分を加算
	② 「まちをきれいに志隊」登録者数	64	113	159	人	↑↑↑	
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	マナーの向上、地域環境美化への貢献、市民との協働。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちをきれいに志隊」への登録者11団体、22個人の計159人が活動中。 ・「まちをきれいに志隊」の登録者がいない地域があることから、広報紙やホームページ等により周知に努めるとともに、様々な機会を通じ登録の呼びかけを行っている。 			
事務事業の総コスト(a=b+c)	12,734,538	2,159,971	2,265,204				
事業費(b)(円)	10,581,138	63,871	192,424				
うち一般財源	10,581,138	63,871	192,424				
職員給与費(c)(円)	2,153,400	2,096,100	2,072,780				
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	新たに市民ボランティアによる啓発・パトロールなどを募集し実施するなど全市的な運動に展開していく。	③取り組みの課題	「まちをきれいに志隊」の登録者がいない地域がある。事業の継続を促すための万策を検討する必要がある。
②今年度(H26)に実施した取り組み	啓発グッズを整備し、登録者の増加を図った。	④今後の改善計画	「まちをきれいに志隊」の登録団体の拡大を図るため、広報紙やホームページ等により周知に努めるとともに、様々な機会を通じ登録の呼びかけを行う。